

「補助金に関する基本方針」 に基づく効果検証結果報告書

令和8年3月
総務課 行財政改革推進室

1. 趣旨
2. 対象補助金
3. 検証方法
4. 検証結果
5. 検証結果に基づく見直し事項
6. 今後の対応（再検証）

1. 趣旨

本報告書は、町が交付する補助金について、その公共性、有効性、公平性等の観点から効果検証を実施し、その結果を明らかにすることを目的として作成するものである。

補助金（助成金・支援金などこれに類する性質を持つものを含む）は、町の政策目的の実現及び地域課題の解決を図るための重要な財政的手段である。一方で、限りある財源を活用するものであることから、社会経済情勢の変化や町民ニーズの多様化を踏まえ、常にその必要性や効果を検証し、不断の見直しを行うことが求められている。

本検証は、町の「補助金等に関する基本方針」に基づき実施したものであり、補助制度の妥当性及び成果を客観的に把握するとともに、必要に応じて**制度の改善、整理統合又は終了等の見直しにつなげ、より効果的かつ効率的な行財政運営の推進を図るものである。**

2. 対象補助金

令和6年度に**町が主体となって交付した補助金（59事業）**

※法令等により義務づけられているもの、負担金及び交付金等を除く

3. 検証方法

本検証は、「補助金等に関する基本方針」に定める交付基準に基づき、次の方法により実施した。

(1) 書面調査

各補助金について、交付要綱、実績報告書等の関係資料を基に、「補助金交付基準チェックシート／効果検証シート」を用いて、事業内容、経費及び成果等の実施状況を整理した。

(2) ヒアリング

所管課へのヒアリングを実施し、事業の成果、課題、今後の方向性等について確認を行った。

(3) 評価の視点

- ①公共性（政策との整合性、公共性の確保）
- ②町関与の必要性（公的関与の妥当性、民間代替性の有無）
- ③有効性（成果目標の達成状況、波及効果）
- ④公平性・透明性（対象者の妥当性、手続きの適正性）
- ⑤補助対象経費及び補助率の適正性

以上の検証結果を踏まえ各補助金について「継続」「見直し」「休止」「終了」等の方向性を整理した。

4. 検証結果

(1) 検証対象数 59事業

団体運営費補助	16
イベント補助	4
事業費補助	38
利子補給金	1

※対象補助金の交付状況については、別紙一覧表のとおり。

(2) 交付基準からみる検証結果

- ・公共性については、概ね適合しているものの、個人に対する扶助的性格の補助が多く見受けられることから、町の施策及び社会情勢を踏まえ、合理的な基準に基づく終期の設定が必要である。
- ・有効性については、多くの事業において一定の効果が認められた。
- ・公平性については、多くの事業において適正性が確保されていると認められた。
- ・補助対象経費については、一部の事業において、各団体の運営に係る自立性の確保や繰越金の在り方に関して、改めて検討を要するものがある。

「交付基準」に基づく検証

判 断 項 目		不適合 ×
	内 容	
公共性 (必需性・ 公益性)	住民自治・社会福祉の推進、地域振興において高い必要性がある。	
	特定の者の利益に供することがない。	一部あり
有効性	補助金交付事業の目的・内容が明示されており、効果が客観的指標に基づき認められる。	一部あり
	多様な主体と行政の役割分担の中で、真に補助が必要であり、最良の形である。	
公平性 (透明性)	交付対象となり得る団体へ補助金の周知を行っている。	一部あり
	交付団体等の会計処理及び使途が適切である。	
補助対象 経費	新規設立団体に対する団体運営費補助である。	一部あり
	団体運営経費のうち、交際費、慶弔費、飲食費、懇親会費等を含まない。	一部あり
	補助対象事業に直接関連性のない費用を含まない。	
	補助率は対象経費（国県補助等の財源を除く）の50%を超えない。	一部あり
	補助対象事業について、町に事務等の負担が生じる場合は相当額を減額している。	

4. 検証結果

(3) 今後の方向性（令和8年度方針）

検証結果を踏まえ、次のとおり整理した。

(単位：事業)

継続	50
見直し（費目変更）	1
休止	7
終了	1

(4) 財政効果

本検証結果を踏まえ、令和8年度当初予算において補助金の見直しを反映した。その結果、令和6年度決算額との比較は次のとおりである。

増額の主な要因は、国の方針に基づく学校給食費無償化事業の実施によるものである。この影響額（38,991千円の増）を除いて比較すると、**20,945千円の減額となり、財政効果が認められる結果となった。**

なお、この効果額は、補助金の休止、終了、対象経費の整理、事業規模の見直し等によるものである。

(単位：千円)

対象	令和6年度決算額	令和8年度当初予算額	比較
59事業	166,575	184,621	18,046

5. 検証結果に基づく見直し事項

(1) 団体運営補助における繰越金の取扱い

繰越金の取扱いが団体により曖昧な事例が見受けられた。相当の剰余金が発生した場合は、**原則として補助金の一部返還又は次年度補助金の減額により調整することとし、**関係団体への周知徹底を図る。

なお、明確な目的をもって繰越する場合は、事業の繰越財源であることが明確となる適正な会計処理を行うこと。

(2) 補助対象経費の明確化及び妥当性の確保

交付申請書及び実績報告書等により用途を明確にするとともに、補助対象経費を明確に区分すること。

懇親会費や交際費等、補助対象として適当でない経費が含まれている事例が見受けられるため、**補助対象外経費の整理を徹底する。**

(3) 団体運営費補助から団体事業補助への転換

会費等の自主財源がある団体については、自立的な運営を基本とし、**団体の特定事業に対する補助へ転換を図る。**

ただし、町の施策を担うなど公益性が高く、団体運営補助が必要な場合は、その必要性及び公平性を十分精査する。

5. 検証結果に基づく見直し事項

(4) 終期設定及び定期的な見直し

補助金は一度交付が開始されると長期化する傾向があるため、**原則として終期を設定し、定期的に根本からの見直しを行う。**

町民ニーズや社会経済情勢の変化を踏まえ、縮小、終了、整理統合等を含めた見直しを行う。

(5) 補助率のあり方の見直し

多くの補助事業において、補助額を「定額」としているため、団体の事業規模や実績に関らず毎年度同額を交付している状況にある。

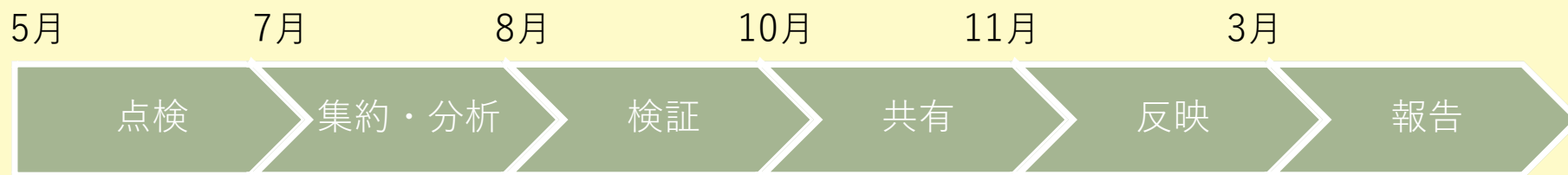
このため、**「定額の補助」から「実績反映型の補助」への転換を視野に入れ、補助対象経費や事業実績に応じた算定方法への見直しについて調査・研究を進める必要がある。**

これにより、財政運営の柔軟性の確保、団体の自立促進及び制度の公平性・透明性の向上を図る。

6. 今後の対応（再検証）

交付基準において「不適合」項目がある補助金は、改善措置を講じることについて再検証を実施する。

また、継続とした補助金についても、毎年度、所定の基準に基づき、補助金の必要性及び補助額の妥当性を検証し、適宜見直しを図るものとする。



補助金等交付状況一覧表（令和6年度）

町が主体となって交付した補助金（59事業） ※法令等により義務づけられているもの、負担金及び交付金を除く。

	所管課	補助金名	補助金種別	補助金の目的・概要	交付団体等	令和6年度 補助金 交付額（円）	令和6年度 補助事業の実績・効果	令和8年度の方針
1	まちづくり推進課	行政区長会運営事業補助金	団体運営費補助	行政区長相互の連絡調整等による各自治会の活発な活動推進を目的とし、地域住民の意思を行政に反映できるように、区長会組織の充実と円滑な運営を補助する。	矢吹町区長会	1,610,000	行政と地域住民との調整役や防犯・環境美化等の地域活動に参加し、協働のまちづくり推進のため町民のリーダーとして活動した。 行政区加入世帯数：4,585世帯 区長：94名	継続
2	まちづくり推進課	行政区活動支援事業補助金	事業費補助	町民と町が一体となる協働のまちづくりの推進を目的とし、町民が地域に関心を持ち、その地域の特色を活かした自主的な事業の実施を補助する。	各行政区または行政区連合体	2,445,478	各行政区が主体となって、環境整備（道路舗装、集会所駐車場整備等）、緑化推進、行政区の歴史のPR等に取り組んだ。 交付実績：9団体	継続
3	まちづくり推進課	まちづくり団体支援事業補助金	事業費補助	町と町民とで築く「協働のまちづくり」の普及推進と個性的で魅力ある地域社会の実現を目的に、町民活動団体が自らの企画提案により行う公共性・公益性の高いまちづくり活動を補助する。	矢吹町に所在を置くまちづくり団体	1,853,626	各まちづくり団体が主体となって、地域活性化につながるイベントの開催や地域の緑化推進等に取り組んだ。 交付実績：8団体	休止
4	まちづくり推進課	東京やぶき会運営事業補助金	団体運営費補助	首都圏在住の矢吹町出身者を中心に首都圏における町の関係人口増加及びPRを目的とする活動を補助する。	東京やぶき会	110,000	会員が矢吹町の産品を知人等に対してPRし、知名度の向上及び町へのふるさと納税の推進に寄与した。また、東京都三鷹市で開催された駅伝大会に出場した矢吹町チームの応援を行った。 会員数：42名	継続
5	まちづくり推進課	統計調査員協議会補助金	団体運営費補助	町が国・県から委託を受けて実施する各種統計調査を円滑かつ正確に行うことを目的とし、各種統計調査に必要な研修受講等の活動を補助する。	矢吹町統計調査員協議会	250,000	主要統計調査（農林業センサス・全国家計構造調査）実施にあたり、県主催の研修会に参加し、必要なスキルを習得し、円滑かつ正確に調査を行うことができた。 県主催研修会参加者数：16名	継続
6	まちづくり推進課	交通対策協議会補助金	団体運営費補助	町・警察と協力し、実情に即した交通安全対策を講じること及び住民の安全意識向上と事故防止を目的とした活動を補助する。	矢吹町交通対策協議会	950,000	交通安全啓発活動の実施、出動式・交通安全大会等の交通安全関連イベントへの参加、スポーツイベントにおける交通整理協力等を通して、交通安全の推進に寄与することができた。	継続
7	まちづくり推進課	防犯協会補助金	団体運営費補助	町・警察と協力し、実情に即した防犯対策を講じること及び住民の防犯意識向上と犯罪抑止を目的とした活動を補助する。	矢吹町防犯協会	200,000	防犯啓発活動の実施、全国地域安全運動福島県民大会・暴力団根絶福島県民大会等の防犯関連イベントへの参加、夜間パトロールを通して、防犯意識の向上と犯罪抑止に寄与することができた。	継続
8	まちづくり推進課	防災士資格取得助成金	事業費補助	地域防災の担い手を確保することを目的に、防災士資格を取得する住民を対象に資格取得費用を助成する。	防災士資格を取得する町民	130,300	防災士資格を取得した町民の資格取得費用を補助し、地域防災の担い手を確保することができた。 交付実績：2名	継続
9	まちづくり推進課	飼い犬・飼い猫不妊去勢手術助成金	事業費補助	多頭飼育崩壊の防止や犬猫の病気の予防等による動物愛護を目的として、犬猫の不妊去勢手術に要する費用の一部を助成する。	飼い犬・猫の不妊去勢手術を行った町民	349,000	飼い犬・猫の不妊去勢手術に係る費用の一部を助成し、動物愛護に寄与することができた。 交付実績：95件	休止
10	まちづくり推進課	住宅用太陽光発電システム導入促進事業補助金	事業費補助	太陽光発電設置に伴うCO ₂ 排出量削減による地球温暖化の抑制を目的に、住宅の太陽光発電設置費用の一部を補助する。	住宅に太陽光発電を設置する町民	2,203,000	太陽光発電設置費用の一部を助成し、住宅用太陽光発電システムの普及と地球温暖化の抑制に寄与することができた。 交付実績：19件	休止
11	まちづくり推進課	家庭用生ごみ処理機購入補助金	事業費補助	家庭ごみのうち約4割を占める生ごみの排出量削減を目的に、生ごみ処理機購入費用の一部を補助する。	生ごみ処理機を購入する町民	208,000	生ごみ処理機購入費を補助し、家庭ごみ排出量の削減及びごみ減量によるごみ処理に要する負担金の抑制に取り組むことができた。 交付実績：9件	休止

補助金等交付状況一覧表（令和6年度）

町が主体となって交付した補助金（59事業） ※法令等により義務づけられているもの、負担金及び交付金を除く。

	所管課	補助金名	補助金種別	補助金の目的・概要	交付団体等	令和6年度 補助金 交付額（円）	令和6年度 補助事業の実績・効果	令和8年度の方針
12	保健福祉課	社会福祉協議会地域福祉推進事業補助金	団体運営費補助	町の福祉増進を目的に、社会福祉事業の推進及び地域福祉の拠点としての組織的活動を補助する。	社会福祉法人 矢吹町社会福祉協議会	1,000,000	町内の社会福祉活動に不可欠である社会福祉協議会の運営に要する経費の一部を補助し、地域福祉の増進に寄与することができた。	継続
13	保健福祉課	民生児童委員活動事業補助金	団体運営費補助	無償で地域住民からの相談に応じる等の活動をし、社会福祉の増進に不可欠な民生児童委員の研修等の活動に要する経費を補助する。	矢吹町民生児童委員協議会	256,000	積極的に研修活動を行い、社会福祉に関する委員の知識を高めることができた。 活動実績：定例会の開催、視察研修2回、外部研修の参加、施設・学校訪問等	継続
14	保健福祉課	老人クラブ連合会地域活動助成補助金	団体運営費補助	高齢者の生きがいづくりと孤立防止を目的に、高齢者の積極的な地域活動の中心的組織である老人クラブ連合会の活動費用を補助する。	矢吹町老人クラブ連合会	1,200,000	各地区の老人クラブの活動補助やスポーツ大会等の開催により、高齢者の生きがいづくりと孤立防止、介護予防、地域のネットワークづくり等に寄与することができた。 連合会加入地区クラブ数：7団体（243名） 活動実績：グラウンドゴルフ・ゲートボール大会、研修会の開催、各種会議への参加	継続
15	保健福祉課	風しん予防ワクチン接種助成金	事業費補助	感染予防や少子化対策を目的とし、妊娠を希望している女性、妊娠している女性及び妊娠を希望している女性の配偶者、妊娠している女性の同居家族に対し、先天性疾患の要因となる風しんの予防ワクチン接種費用を助成する。（現物交付のできない西白河郡管外医療機関で接種した方）	町内在住の妊娠している女性及び妊娠を希望している女性の配偶者、妊娠している女性の同居家族	39,020	風しん予防ワクチン接種費用を助成し、感染予防及び少子化対策の促進に寄与することができた。 交付実績：4件 【参考】現物交付を含む総接種件数：13件	継続
16	保健福祉課	公的救急病院運営費補助金	団体運営費補助	地域医療体制の確保を目的に、公的救急病院が救急患者受け入れ人員の確保及び病床等の体制整備に要する費用を補助する。	町内の公的病院	46,476,000	救急患者受け入れ人員の確保及び病床等の体制整備に要する費用を補助することで、地域医療体制の確保に寄与した。 【救急診療応需状況（全地域合計）】 救急車要請件数：1,245件 応需件数：932件 応需率：74.9%	継続
17	農業振興課	グリーンツーリズム事業補助金	事業費補助	姉妹市町交流及び地域経済の活性化を目的に、姉妹市町である三鷹市と連携して行うグリーンツーリズム事業の開催と事業を通して生産する特産品の生産等に要する費用を補助する。	矢吹町産米販路拡大推進協議会	2,845,628	酒米の田植え及び稲刈り時には、三鷹市から小学生をはじめとした三鷹市民が来町し、地元神田地区の子供と交流した。また、その酒米を用いたオリジナル日本酒「開拓のうた」を生産し、その新酒発表会にも三鷹市関係者が参加し、姉妹市町の交流を深めた。加えて、「開拓のうた」を町の特産品として町内酒販店や飲食店、ふるさと納税で販売し、地域経済の活性化に大きく寄与することができた。 来町者数：田植え・稲刈り 約80名（うち約40名は小学生） 新酒発表会 約20名	継続
18	農業振興課	矢吹町産米等販路拡大推進協議会運営補助金	事業費補助	特産品の販売促進を目的に、三鷹市を中心とした首都圏における特産品のPR・販売促進活動及びオリジナルブランド米の販売促進活動に要する費用を補助する。	矢吹町産米販路拡大推進協議会	434,978	三鷹市を中心とする首都圏や県内で開催されるイベントに8回出店し、特産品のPR及び販売を行った。各イベントではリピーターが多く、販売促進につながる認知度の向上に寄与することができた。	継続
19	農業振興課	ブランドイメージ回復支援事業補助金	事業費補助	東日本大震災に伴う原発事故による風評被害を払拭することを目的に、若手農業者を中心に行うブランドイメージ回復活動に要する費用を補助する。	町内団体	162,050	三鷹市のイベントに出店し、農作物を中心とした特産品の販売促進活動を通して風評払拭に寄与することができた。	休止

補助金等交付状況一覧表（令和6年度）

町が主体となって交付した補助金（59事業） ※法令等により義務づけられているもの、負担金及び交付金を除く。

	所管課	補助金名	補助金種別	補助金の目的・概要	交付団体等	令和6年度 補助金 交付額（円）	令和6年度 補助事業の実績・効果	令和8年度の方針
20	農業振興課	ドローン等活用水田病害虫防除事業助成金	事業費補助	生産性の向上による地域農業の持続的発展及びスマート農業の推進を目的に、ドローン等による病害虫防除に要する経費の一部を助成する。	町内農業者	620,900	近年、地球温暖化等によりカメムシが増加し、水稲への被害が急増しているため、スマート農業を活用した病害虫対策を実施した農家へ助成を行い、地域農業の持続的発展及びスマート農業の推進に寄与することができた。 交付実績：3,100a	継続
21	農業振興課	農業振興事業補助金	事業費補助	地域農業の振興を目的とし、経営規模の拡大、経営の効率化等に取り組む地域農業の担い手を補助する。	町内農業者	2,850,000	新規就農者や経営規模拡大、作業の効率化（スマート農業）を図る担い手を補助し、地域の農業発展、安定的な農業経営に寄与することができた。 交付実績：4件	継続
22	農業振興課	フロンティア就農者支援金	事業費補助	地域農業の振興及び定住促進を目的に、異業種から新たに町内で就農する農業者に対して支援金を交付することで、経営安定を支援する。	異業種から新たに町内で就農する農業者	300,000	新規就農者に対し支援金を交付することで、経営の安定化及び農業の振興に寄与することができた。また、新たな就農者が矢吹町で就農する契機を作ることができた。 交付実績：3件	継続
23	農業振興課	担い手機械導入事業補助金	事業費補助	地域農業の振興及びスマート農業の推進を目的に、高騰している高性能な農業資材・機械の購入費用の一部を補助する。	町内農業者	1,312,900	スマート農業関連機械や高性能な農業機械の導入を促進し、農作業の効率化や省力化を促し、地域農業の発展及び持続可能な農業の推進に寄与することができた。 交付実績：14件	継続
24	農業振興課	収入保険加入推進助成金	事業費補助	農業者の経営安定化を目的に、農業経営収入保険に加入する農業者に対し、その保険料の一部について助成する。	町内農業者	98,500	農業経営収入保険加入を促進し、セーフティーネットとして農業者の経営安定化に寄与することができた。 交付実績：4件	継続
25	農業振興課	地域担い手総合支援協議会補助金	事業費補助	地域農業の発展を目的に、新規就農者の育成に要する費用及び経営規模の拡大・安定化を目指し法人化を目指す農業者に対して助成する。	矢吹町農業再生協議会	86,709	新規就農者の育成に要する費用を助成し、地域農業の発展に寄与することができた。（法人化に関する助成は申請なし。）	継続
26	農業振興課	水田農業構造改革対策事業補助金	事業費補助	農業者の所得確保と作付転換の定着支援を目的に、新規需要米（飼料用米、稲発酵粗飼料用稲）作付者と備蓄米作付者に対して協議会を通じて補助する。	矢吹町農業再生協議会	4,347,000	新規需要米（飼料用米、稲発酵粗飼料用稲）作付者と備蓄米作付者に対して協議会を通じて補助したことで、農業者の所得確保と作付転換の定着支援に寄与することができた。 交付実績：飼料用米2,693.62a(2,686,000円) 稲発酵粗飼料用稲 1,150.90a(1,150,000円) 備蓄米974.64a(482,000円)	継続
27	農業振興課	酪農ヘルパー事業補助金	事業費補助	酪農経営安定を目的に、町内畜産農家が休日確保のために利用する、酪農ヘルパー利用組合の体質強化に要する費用を補助する。	福島県酪農業協同組合	198,000	組合の提供する酪農ヘルパー制度を活用する畜産農家が増加し、過重労働の改善につながり、地域全体の酪農基盤支援に寄与することができた。 交付実績：4件	継続
28	農業振興課	家畜伝染病予防負担助成金	事業費補助	家畜伝染病等の発生とその拡大及び家畜経営の損失を未然に防止することを目的に、家畜伝染病の予防接種に係る経費の一部を助成する。	町内畜産農家	144,880	牛アカバネ病と豚熱の予防接種を行った畜産農家へ助成により、家畜伝染病の発生とその拡大抑制及び畜産経営の安定に寄与することができた。 交付実績：6件	継続
29	農業振興課	堆肥活用事業補助金	事業費補助	化学肥料の使用量削減による環境保全や土壌改良及び耕畜連携促進を目的に、町内畜舎の排せつ物を利用した堆肥の購入費用の一部を補助する。	町内農業者 (10a以上の耕地面積を有する者)	376,000	堆肥購入費用の補助により、堆肥を購入する農業者が増加傾向にあり、環境保全及び耕畜連携の促進に大きく寄与することができた。 交付実績：16件	継続

補助金等交付状況一覧表（令和6年度）

町が主体となって交付した補助金（59事業） ※法令等により義務づけられているもの、負担金及び交付金を除く。

	所管課	補助金名	補助金種別	補助金の目的・概要	交付団体等	令和6年度 補助金 交付額（円）	令和6年度 補助事業の実績・効果	令和8年度の方針
30	農業振興課	有害鳥獣捕獲業務補助金	事業費補助	農作物の鳥獣被害防止を目的に、罾の設置等の有害鳥獣対策活動に要する費用を補助する。	矢吹町有害鳥獣被害対策協議会	731,546	くくり罾や箱罾の設置等により、イノシシやハクビシン等による農作物の被害を減少させることができた。 イノシシ捕獲頭数：3頭、ハクビシン捕獲頭数：1頭	継続
31	農業振興課	鳥獣被害対策事業補助金	事業費補助	農畜産物への鳥獣被害防止を目的に、電気柵等の侵入防止柵設置に要する費用を補助する。	町内農業者	35,000	電気柵等の侵入防止柵設置によって、イノシシ等による農作物被害額を削減することができた。 交付実績：2件	継続
32	農業振興課	狩猟免許等取得補助金	事業費補助	農畜産物への鳥獣被害防止のために活動する、鳥獣被害対策実施隊の担い手確保を目的に、有害鳥獣の捕獲に必要な狩猟免許の取得に要する経費を補助する。	狩猟免許を取得する町民	187,955	鳥獣被害対策実施隊の高齢化が課題となっているが、補助金を活用して狩猟免許を取得した若い隊員が実施隊に加入し、担い手を確保することができた。 交付実績・実施隊加入者：2名	継続
33	農業振興課	遊水地対策協議会補助金	団体運営費補助	国が進める遊水地整備事業について、地域住民と町等が協働し、遊水地整備後の安心安全な住環境構築を目的に、国・県への要望活動及び事業への理解を進める活動に要する費用を補助する。	三城目地区遊水地対策協議会	271,950	遊水地整備事業について、地域や地権者等である会員からの要望や意見を取りまとめ、国・県・町へ要望活動を行ったほか、治水対策事業の理解を深めるため、講演会の開催や遊水地の視察研修を実施した。 活動実績：要望活動1回、講演会1回、視察研修1回	継続
34	商工観光課	商工会運営費補助事業補助金	団体運営費補助	商工業の振興を目的とし、地域資源を活用した事業や農工商連携事業等を通じて地域の活性化対策に中心となって取り組む商工会に対して、運営に要する費用を補助する。	矢吹町商工会	5,000,000	商工会への補助により、地域資源の活用や農工商連携事業等を通じた地域の活性化に寄与することができた。	継続
35	商工観光課	中心市街地活性化事業補助金	イベント補助	中心市街地の活性化を目的とし、中町ポケットパークを核としたイベントや賑わいづくり事業の実施に要する経費を補助する。	矢吹町商工会	4,500,000	商工会が中心となり、中心市街地に所在する商店等の協力を得て、中町ポケットパークを核としたイベントを開催し、賑わいを創出することができた。 活動実績：イベント等開催回数 6回、参加者数3,539人	継続
36	商工観光課	小規模事業者経営改善資金 利子補給補助金	利子補給金	事業者の経営安定化・発展による地域商業の振興を目的とし、取りまとめを行う矢吹町商工会を経由し、小規模事業者改善資金を借り入れた事業者が支払う利子の一部を補助する。	矢吹町商工会	701,408	補助金によって、小規模事業者改善資金を借り入れた事業者が支払う利子の負担軽減を図り、事業者の経営安定化による商業の振興に寄与することができた。 交付実績：24件	継続
37	商工観光課	やぶきじくん支援事業補助金	事業費補助	町のPRを目的に、矢吹町のご当地キャラクターである「やぶきじくん」が遠方のイベントに参加する際の活動費用を補助する。	矢吹町商業振興公社	300,000	矢吹町のご当地キャラクターである「やぶきじくん」が遠方のイベントに参加する際の活動費用を補助したことで、子どもを中心としたファミリー層へのPRを行うことができた。 活動実績：イベント出演等 6件	継続
38	商工観光課	やぶきフロンティア祭り開催 事業補助金	イベント補助	矢吹町の産業、文化等を町内外へ広くPRすることを目的に、やぶきフロンティア祭りの開催に要する費用を補助する。	やぶきフロンティア祭り実行委員会	8,300,000	やぶきフロンティア祭りの開催を通して、矢吹町の産業、文化等を町内外へ広くPRできたほか、地域活性化、交流人口創出に寄与することができた。 来場者数：約4,700人	継続
39	商工観光課	やぶき太鼓まつり開催事業 補助金	イベント補助	文化の伝承、地域振興を目的に、町内の太鼓3団体が中心となって開催する、やぶき太鼓まつりの開催に要する費用を補助する。	やぶき太鼓まつり実行委員会	4,500,000	補助を通して、太鼓文化の伝承、地域振興に加えて、大池公園のPRに寄与することができた。 来場者数：約5,500人	休止
40	商工観光課	地域活性化イベント事業費 助成金	イベント補助	地域の賑わい創出及び交流人口の拡大を目的とし、町内で開催する地域活性化につながるイベント開催等に要する費用を助成する。	町内でイベント等を開催する民間団体	100,000	助成を通して、地域の地域の賑わい創出及び交流人口拡大に寄与することができた。 交付実績：2団体	継続

補助金等交付状況一覧表（令和6年度）

町が主体となって交付した補助金（59事業） ※法令等により義務づけられているもの、負担金及び交付金を除く。

	所管課	補助金名	補助金種別	補助金の目的・概要	交付団体等	令和6年度 補助金 交付額（円）	令和6年度 補助事業の実績・効果	令和8年度の方針
41	商工観光課	移住定住総合サポート支援金	事業費補助	移住促進と定住人口の増加を目的として、県外から矢吹町に移住した方に対し、生活環境の変化により必要となる費用を支援する。	県外から移住した町民	3,060,000	生活環境の変化に伴い生じる経費を支援することで、移住促進と定住人口の増加に寄与することができた。 交付実績：移住支援金（引越費用等）15件 定住支援金（住宅取得費用等）7件 追加支援金（自動車免許取得費用等）6件	継続
42	商工観光課	企業PR支援事業補助金	事業費補助	町内企業の人手不足解消を目的に、中高生向けに町内企業の就職情報を周知するために要する費用を補助する。	やぶき経営懇話会	500,000	町内企業を中高生向けに分かりやすく紹介する企業ガイドブックを作成・配布（矢吹中学校・光南高校1年生対象）することで、町内企業の人手不足解消に寄与することができた。 実績：光南高校におけるガイドブック掲載企業就職者 6名	継続
43	商工観光課	光南高校魅力化向上推進委員会運営補助金	事業費補助	地域の持続的な振興・発展に関わる人材の育成を目的とし、町と福島県立光南高等学校の連携協定に基づき、光南高校の魅力向上のため設立された当該委員会の運営に要する経費を補助する。	光南高校魅力化向上推進委員会	3,500,000	補助金を活用して、光南高校生徒援助成金の交付と下宿整備に取り組み、光南高校の魅力向上による地域の持続的な振興・発展に関わる人材の育成に寄与することができた。 実績：光南高校生徒援助成金交付実績 1,800千円/16名 花咲地内に女子寮を整備（賃貸）	継続
44	商工観光課	空き店舗対策事業補助金	事業費補助	町内の空き店舗解消及び賑わい創出を目的に、空き店舗で事業を開始する事業主に家賃及び土地使用料の一部を補助する。	町内空き店舗で事業を開始する事業主	360,000	補助を通して、町内空き店舗の解消及び賑わいの創出のほか、町内商業の発展及びイメージアップに寄与することができた。 交付実績：2件	継続
45	商工観光課	産業イノベーション創出支援事業補助金	事業費補助	地球温暖化対策の一環として再生可能エネルギー関連分野の啓発・普及を目的として、新たな産業イノベーションの創出を研究する団体の活動費用の一部を補助する。	町内団体	300,000	補助金を活用して、水素エネルギーの啓発・普及に寄与することができた。また、町と団体で連携して「ゼロ・カーボン宣言」を行った。 活動実績：啓発授業 5回（参加者710名） イベント出店 6回（参加者700名）	継続
46	商工観光課	消費喚起促進事業費助成金	事業費補助	新型コロナウイルス感染症の影響による個人消費の落ち込み解消を目的に、町内事業者の個人消費喚起等に要する費用を助成する。	個人消費喚起等を行った町内事業者	476,000	※令和6年度終了 助成を通して、新型コロナウイルスの影響により落ち込んだ個人消費を喚起することができた。 実績：集客数対前年比33%増	終了
47	教育振興課	学校給食費補助金	事業費補助	子育て家庭の経済的負担軽減及び学校給食を安定した提供を目的として、町が実施する学校給食において保護者が負担する費用の一部を助成する。	矢吹町立小中学校に在籍する児童・生徒の保護者	39,487,838	補助を通して、子どもの権利と健全な成長を保障する社会的責任と教育機会の平等性の確保及び所得による子どもの学習成果や学校生活の満足度の格差解消に寄与することができた。 交付実績：小学校851名（1名あたり年間180食） 中学校438名（1名あたり年間約170食）	継続
48	教育振興課	特別支援学校等補助金	団体運営費補助	特別な教育を必要とする児童・生徒が適切な教育を受けられる環境の確保を目的に、町内在住の児童・生徒が通学する県立支援学校後援会の運営に要する費用の一部を補助する。	支援学校	79,000	補助により、町内在住の特別な教育を必要とする児童・生徒の学校行事の充実及び教育環境整備等、教育ニーズに応じた支援に寄与することができた。	継続
49	教育振興課	奨学金返還支援事業補助金	事業費補助	若者定住促進を目的に、奨学金の返済を行っている町民に対して返済に要する費用の一部を補助する。	35歳未満で正規雇用により就業しており、奨学金を返済している町民	5,055,000	補助により、35歳未満の若者の定住促進に寄与することができた。 交付実績：45名	継続
50	生涯学習課	青少年健全育成推進会議補助金	団体運営費補助	子どもの安全・健全な育成を目的とし、青少年の健全育成及び非行防止活動に要する費用を補助する。	矢吹町青少年健全育成推進会議	500,000	保護者、町議会議員、民生児童委員、行政区長が連携しながら、通学路危険箇所の点検及び看板設置やイベントにおける巡回指導、標語コンクールの開催等により、地域の安全性の確保・向上に寄与することができた。	継続

補助金等交付状況一覧表（令和6年度）

町が主体となって交付した補助金（59事業） ※法令等により義務づけられているもの、負担金及び交付金を除く。

	所管課	補助金名	補助金種別	補助金の目的・概要	交付団体等	令和6年度 補助金 交付額（円）	令和6年度 補助事業の実績・効果	令和8年度の方針
51	生涯学習課	三鷹市・矢吹町子ども交流会補助金	事業費補助	姉妹市町である三鷹市と町の子どもの交流を目的に、交流会を行うための費用を補助する。	矢吹町子ども会育成会 連絡協議会	148,780	交流会（レクリエーション、美術館見学等）を通して、双方の子ども達が親睦を深め、仲間づくり・新たな自分の発見等ができた。 参加者数：20名（小学5・6年生）	見直し（費目変更）
52	生涯学習課	スポーツ少年団育成補助金	団体運営費補助	スポーツの健全な普及及び青少年の健全育成を目的に、自主的な児童・生徒のスポーツ活動である、スポーツ少年団の活動に要する費用を補助する。	矢吹町スポーツ少年団	380,000	補助により、児童・生徒の自主的なスポーツ活動に寄与することができた。 団体数：5団体（4種目） 入団者数：62名	継続
53	生涯学習課	体育協会運営補助	団体運営費補助	町民の体力向上と健康増進を目的に、地域でのスポーツ普及に要する費用を補助する。	矢吹町体育協会	390,000	県民スポーツ大会（ソフトボール、卓球、バドミントン）への出場、三鷹市スポーツ協会との交流試合等（ゴルフ、山岳、バレーボール）により町民の体力向上と健康増進に寄与することができた。	継続
54	生涯学習課	総合型地域スポーツクラブ運営補助金	団体運営費補助	生涯スポーツの推進による多世代交流や健康増進、地域コミュニティの活性化を目的に、スポーツ教室やイベントを実施しているスポーツクラブの運営に要する費用を補助する。	矢吹スポーツクラブ	4,746,694	スポーツ教室を開催し、多世代交流や健康増進、地域コミュニティの活性化に寄与することができた。 参加者数：3,512名（26教室）	継続
55	子育て支援課	子どもの居場所づくり支援事業補助金	事業費補助	貧困等様々な問題を持つ子どもたちが、放課後等に食事や遊び等を通じて、大人や地域とつながること、安心して過ごせる居場所づくりを目的に、子どもの居場所づくりを行う団体に対して運営費用の一部を補助する。	子どもの居場所づくりを行う団体	1,280,000	子どもたちへの食事提供や季節のイベント開催を通して、子どもの居場所及び地域住民のつながりの場を設けることができた。 交付団体数：5団体 開催回数：64回（全団体合計） 参加者数：2,602名（全団体合計）	継続
56	子育て支援課	小規模保育事業賃借料助成金	事業費補助	待機児童解消を目的に、賃借物件を活用して小規模保育施設の設置・運営を行う事業者に対して、物件賃借料の一部を助成する。	町内保育園運営事業者	164,000	助成により、閉園する保育施設の事業継承を行った新たな保育施設の設置・安定した運営を支援し、待機児童の抑制に寄与することができた。 園児数：12名（閉園した保育施設から継続）	継続
57	子育て支援課	保育園等第三者評価受審費助成金	事業費補助	保育の質向上を目的に、第三者評価（公平中立な第三者機関が保育園の運営や保育内容を客観的・専門的な立場から評価するもの）の受審に要する費用の一部を助成する。	町内保育園運営事業者	114,000	助成により、第三者評価の受審を推進し、地域の保育の質向上及び子育て世帯への保育施設に関する情報提供に寄与することができた。	継続
58	子育て支援課	保育士確保支援事業補助金	事業費補助	待機児童解消を目的に、町内保育施設が保育士の確保に要する費用を補助する。	町内保育園運営事業者	582,500	補助により、保育士人材派遣会社と人材派遣契約を締結し、保育教諭を採用したことで不足していた人材を確保し、待機児童の解消に寄与することができた。 交付実績：2施設、採用者数：4名	休止（不足する人材を確保できたため）
59	子育て支援課	教育・保育施設等に係る副食費助成金	事業費補助	子育て世帯の負担軽減による安心の子育て環境づくりを目的に、保護者が負担する給食費のうち副食費相当分を助成する。	町内保育施設に児童を通園させる保護者	7,764,900	助成により、子育て世帯の経済的負担軽減及び定住促進に寄与することができた。 対象園児数：366名（全施設合計）	継続